

# 川崎町の資源をいかす会 事務局だより

NPO法人 川崎町の資源をいかす会

第52号 (令和4年 6月発行 不定期)

## 第16回 通常総会および第2回理事会の報告

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、開催できずにいましたが、今年は川崎町の施設が使用できるようになり、3年振りに開催されました。しかしながら出席者は少なく、やはり未だに新型コロナ蔓延の影響があると感じました。

来年度は多くの会員の皆様が顔を合わせて近況報告など懇談できたらと思っております。

### 令和4年度 第16回通常総会議事内容

- 1 日 時：5月22日(日) 午前9時30分～11時
- 2 場 所：川崎町公民館 3階ホール
- 3 出席者：11名 委任状提出者77名 合計88名 > (143/3=48名) よって総会は成立しました。
- 4 議 長：加藤渉
- 5 議事録署名人：大宮忠明・菊地重雄



- 6 審議事項
  - 第1号議案 令和3年度事業報告および収支決算報告
  - 第2号議案 令和4年度事業計画(案)および収支予算(案)
  - 第3号議案 役員の変更
- 7 審議の経過の概要および議決の結果
  - ① 第1号議案 令和3年度事業報告および収支決算報告  
桜台(理事)事務局長より、令和3年度の活動について報告された。
    - 令和3年度事業報告  
実施した事業の概要説明と、新型コロナウイルスの影響がいまだに続くなどの理由で、中止せざるを得なかった一部事業があった旨の報告があった。
    - 令和3年度収支決算報告  
活動計算書のとおり概ね予算どおりであった旨の報告があった。
    - 令和3年度監査報告：桜台理事  
「令和4年5月9日、帳簿・現金・預金通帳及び契約書等関係書類を監査した結果、適正に処理されており、収支決算報告書・貸借対照表・財産目録に表記されているとおりであることの報告があった。」  
表決の結果、第1号議案は満場一致で承認された。

②第2号議案 令和4年事業計画および予算案

議長より指名を受け、事務局が事業計画及び予算案を提案し、それぞれ概要を説明した。  
議長は、質疑の後表決を求め、第2号議案は満場一致で承認された。

③第3号議案 役員の改選

理事選任について、現理事16名の内、迫木今朝善氏・真壁治平氏・沼田良子氏の三氏は退任の申し出があり、残る12名の理事は再任の意思を示していることが事務局より報告された。また議場から、新理事に宮川卓士氏・舩昌汰氏・宮城加代子氏の推薦があった。

続いて議長は、監事選任について議場に諮った結果、鹿野記市氏と小島吉雄氏の再任については事務局より打診し内諾を得ている旨が報告された。

議長が、以上の内容を議場に諮った結果、満場一致で承認された。

令和4年及び5年度の理事は表.1のとおり、理事16名、監事2名となりました。

表.1 新役員一覧

理 事						監 事	
齋藤勝廣	再任	立岡学	再任	米澤光秀	再任	鹿野記市	再任
大宮忠明	再任	菅野則明	再任	宮川卓士	新任	小島吉雄	再任
加藤涉	再任	小笠原規夫	再任	舩昌汰	新任		
菊地重雄	再任	川崎清次	再任	宮城加代子	新任		
桜台清志	再任	山本雅昭	再任				
新野紘三	再任	大村正美	再任				

「被選任者は就任することを承諾いたしました。

第2回理事会議事内容

総会終了後、令和4年度第2回理事会を開催して、日程が未確定であった各活動について審議し、下記の通り日程が決まりました、

- ・ 田んぼで遊ぼう会（田植え） 6月4日（土）
- ・ 梅採り体験及びブルーベリー摘み取り体験会 6月25（土）又は26日（日）予定
- ・ 釜房ダム桜並木のツル切り 7月30日（土）・8月6日（土）の2回
- ・ 水源地（象が沢）探訪体験 9月3日（土）
- ・ 田んぼで遊ぼう会（稲刈り） 10月
- ・ 第1回 水車による粉挽きとそば打ち体験 11月5日（土）
- ・ 広葉樹林の作業体験事業 11月13日（日）
- ・ 原木キノコの植菌体験事業 シイタケ 12月3日（土）
- ・ 第2回 水車による粉挽きとそば打ち体験 12月25日（日）
- ・ 原木キノコの植菌体験事業 ナメコ・ヒラタケ 2023年2月4日（土）

詳細についての案内を郵送で希望の方は事前に事務局まで申し出てください。

川崎－仙台薪ストーブの会の活動について

どんぐりの森では夏場の活動禁止を求められているため、活動拠点は、齋藤理事長手配の山林で合同会社「百」と協調し実施します。この山林では、白炭窯用の原木の産出も合わせて行います。

なお、「定例会」は従来通り毎月第2日曜日（8月及び1月は休み）に腹帯集落センターで実施します。参加する方は事務局に連絡し、作業のしやすい服装で、昼食・飲み物等を持参してください。

定例行事等に変更がある場合は事前連絡者のみにお知らせします。

「活動日」は、直接現地に午前9時30分までに集合してください。なお、作業の報告等は代表者が提出してください。作業内容は当日担当者が説明します。いかす会の活動はすべて自己責任で行うこととしています。

「NPO法人川崎町の資源をいかす会」としては事故等について一切責任を負うことは出来ません。怪我などには十分に注意して活動してください。

なお、青根リゾート管理事務所には予め日程を届け出てありますので、この日程以外で出入りする場合は変更届が必要です。私有地ですので勝手に入らないようにお願いします。

## 農産部会からのお知らせ

### ●梅の実収穫体験

いよいよ梅雨の時季となりました。梅の実が熟すころの雨のため、そう呼ぶといえます。川崎町の梅も今月末あたりが採り頃です。そこで、梅（白加賀）の収穫を行いますので興味ある方は、参加してください。季節の移ろいを感じながら、川崎町の資源（梅）と一緒に収穫しましょう。

尚、果実ですので天候等の影響があります。実の熟れ具合を見て、予定日1週間前ころに確定日時をメール等で連絡いたします。

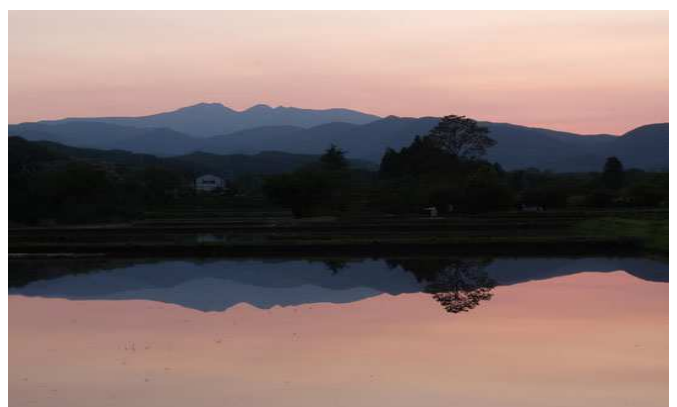
- 日 時 6月25日（土）又は26日（日）梅収穫 10:00～11:30 予定  
集合時間は確定次第メールでお知らせします。
- 場 所 前川小学校から青根方面へ向かう道路沿い右側の梅林（20本程度）に集合してください。
- 参加費 会員¥300、一般¥300（お茶・おやつ付）
- 梅代金 収穫した梅は300円/kgでお分けします。収入は梅林維持管理費用に充当。
- 用 途 梅干し、梅ジュース、梅ジャム、梅酒等
- お願い 事前に梅林の草刈りを予定しています。メールでお知らせしますので お手伝いできる方は草刈り機持参でお願いします。（混合油は用意します）
- 参加者名 希望量（〇〇kg）も併せてメールでお知らせ下さい。
- 連 絡 メール：[oomura.masami@mou.ne.jp](mailto:oomura.masami@mou.ne.jp) or 携帯：090-5848-7417（大村）

### ●ブルーベリー摘み取り体験

実の熟れ具合にもよりますが、熟した分だけでも摘み取ります。ご興味ある方は参加してください。

- 日 時：6月25日（土）26日（日）13:30～15:00 予定
- 場 所： 川崎町前川山長 「悠々ファーム」
- 販 売： 300円/100g
- 申し込み：メール：[oomura.masami@mou.ne.jp](mailto:oomura.masami@mou.ne.jp) or 携帯 090-5848-7417（大村）

## 川崎町での里山暮らし Part3



朝起きると、まぶしい光が部屋へ差し込む。いつの間にか春が過ぎ、夏がやって来たようなお天気である。田植えの時期の到来で、田んぼと水との競演が始まっている。季節の移り変わりを光と風

とトラクタや田植え機の機械の音で実感する。眼前に広がる山の緑と白い衣、上空を覆う青い空。鮮やかな色彩のコントラストが見事で、初夏の風や光までも想像させる臨場感が心地よい。蔵王連

峰も光が差し込むとまぶしい表情を時折見せる。萌黄（もえぎ）の里山が日に日に緑を濃くしている。この時節の植物の成長速度には驚くばかりだ。季語「山笑う」にはピッタリの季節で、木々が芽

吹き花も咲き始めて生気に満ちる様子を今、表しているようだ。

今の季節は心地よい風が特にさわやかだ。人は体のどこで風を感じるのだろうか。ひんやり、ジトジト…。やはり触覚だろうか。風の音に驚くような聴覚か。この季節にぴったりの「風薫る」という言葉もある。嗅覚でも分かる。風は一つだけの感覚に訴えるものではないようだ。私は水田を通り抜ける風が好きで、こころの中まで吹き抜け染み入るような感覚がなんとも言えない快感である。そして今、草や竹の繊細なそよぎも、目の前の風を表現しているようにも思える。

風とともに新緑が目心地よい。まさに山口素堂の「**目には青葉山ほととぎす初鯉**」の季節到来でもある。この句には視覚、聴覚、味覚を表す季語が三つも入っていて、日本の初夏をぜいたくに活写しているように思える。新緑をなぜ緑葉といわず青葉というのか、かねて疑問に思っていたが、ある書によると、日本語には古来、色を表す言葉は赤、青、黒、白しかなく、緑は青の一部だったという。その後、緑、黄、茶などが加わって、日本の色彩語は豊かになった。そしてホトトギスの声。万葉集以来、常に文芸作品に登場する鳥だ。枕草子には夜中に起き、

人より早く初鳴きを聞こうとするくだりがある。カツオは今年も平年以下の漁だという。中国やベトナムなどの漁船が回遊中のカツオをごっそり捕るとのことである。そのため、最近のカツオは、店頭価格が高いと聞く。青葉、ホトトギス、カツオという初夏の三拍子が、最近は簡単にそろわないのが悩みでもある。

今、まさしくこの自然と同化し、生き物と向き合い、土を耕し、清き水の豊かさに感謝の気持ちを持ち続け、生きている幸せの時間をこの地で味わっている。いつまでもこの風景が遠い将来まで続きますようにと思わず手を合わせた。

### どんぐりの森自然観察会報告

- 日時 5月7日(土) 午前9時30分～12時
- 集合場所 腹帯集落センター
- 参加費 会員300円、一般500円
- 参加人員 約20名
- 主催 NPO法人 どんぐりの森
- 共催 NPO法人 川崎町の資源をいかす会

どんぐりの森は青根地区の手代塚山にある広大な自然林で、野生動物の成育が確認されています。そこには40年から60年にもなるコナラ・ミズナラ等の広葉樹が多く成育していました。

コナラ林は高齢化して大木になると、そこに甲虫カシノナガキクイムシが飛来して繁殖し、その媒介によって病原菌がナラ枯れを起こします。この森もその例外ではありませんでした。ナラ枯れが広がればどんぐりが少なくなり、野生動物の食料も無くなります。そこで、3年前から皆伐萌芽更新を実施したところ、これまで鬱蒼としていた雑木林に日が当たり、林床には山野草が芽吹き始めました。それに伴い昆虫や小動物が成育するようになりました。また、初年度に伐られた木の切り株では、新しく萌芽が始まっています。



皆伐萌芽更新は、地球環境問題の一つである生物多様性の保全に貢献することになります。5月7日の観察会では、新聞を見て参加された一般の方々と一緒にハイキングをし、山野草を楽しみながら森の自然の大切さを知ることができました。頂上の手代塚山(標高570m)を目指し、樹木や山野草の名前を案内人のレクチャーを受けながら、全員で気持ちよい汗をかいて緑の風と光を浴びて楽しく散策することができました。

#### (事務局より) 川崎一仙台薪ストーブの会の皆様へ お願い

今年度は、安全に木下し作業をするための機材(hanako300)のワイヤーを購入する予定です。この機材は消耗品のため助成金の対象となりません。よって、会員の皆様からのご寄付をお願いしています。すでに会費と一緒に送金いただいた方もおられますが、まだ予定額に達していません。旧キモチをお持ちの方は、キモチでの寄付も歓迎しますのでよろしくお願いたします。